

はじめに

埼玉県立文書館は昭和四十四年（一九六九）の開館以来、埼玉に関する歴史的・文化的に価値のある行政文書、古文書、地図などの記録資料を収集し整理を行い、県民共有の財産として保存に努めています。また、これら貴重な資料を活用し、後世に伝えることも当館の使命の一つであり、『文書館紀要』の編集・刊行はその活動の一環となります。

この度、当館職員等各執筆者が業務等を通じて深めた調査研究の成果を『文書館紀要第三十六号』としてまとめ、発表する運びとなりました。

今回、対象となっている論稿は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染対策としてワクチン接種など、科学的知見の進行により、with コロナの中での研究活動となります。

本紀要が、埼玉の歴史と文化に理解を深めるための一助となれば幸いです。

最後になりましたが、当館の事業に対し御支援・御協力を頂いております関係各位に心から御礼申し上げますとともに、今後とも一層の御支援・御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

令和五年三月

埼玉県立文書館長 山田 恵